

乳がん抗がん剤による脱毛への、 頭皮冷却法による脱毛抑制のご案内

山形県立中央病院

乳癌治療で使用されるアンストラサイクリン系やタキサン系の抗がん剤は高頻度で脱毛の副作用が発現します。治療が終わればいずれは元にもどる方が多いですが、それまで時間のかかる方や頭頂部の発毛がなかなか戻らない方もあり、脱毛を避けたいという要望があります。

PAXMAN 頭皮冷却装置は、抗がん剤投与中に頭皮部分にマイナス4度の冷却液を流し、毛髪（毛根）への抗がん剤の影響を最小限にすることで、脱毛を抑えるものです。

最近我が国でも医療機器として承認され、当院では令和4年(2022)年3月より使用可能となりました。

本治療は医療サービスとしての提供のため、患者さんの経済的なご負担もあります。よく相談して使用を決めてください。

<当日の流れ>

朝9:30まで来院、採血
↓
外来診察 採血結果確認
↓
入院 8西病棟
↓
冷却キャップのフィッティング
↓
抗がん剤投与 30分前から冷却開始
↓
抗がん剤投与中 冷却継続
↓
抗がん剤投与後も 90分間冷却継続
↓
冷却キャップ外す 終了。

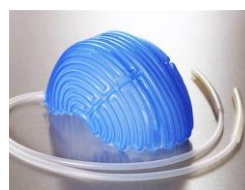


*尚、脱毛を抑える効果には、抗がん剤の種類や投与回数、ヘッドキャップの頭皮への密着度合いなどでも違いがみられます。

*副作用

- ・ストラップ締め付けによる顎痛 (75%)、
- ・頭皮冷却に伴う寒気による不快感(68.8%)
- ・頭痛 (71.9%)
- ・額痛 (40.6%)
- ・めまい (40.6%)
- ・悪心 (43.8%) など

*ヘッドキャップ



頭皮冷却に使用するキャップは別途購入していただきます
(院内 売店で販売)

使用 99,000 円 (税込)
S,M,L の 3 つサイズあります。

問い合わせ (担当責任者)

TEL 023-685-2626

山形県立中央病院 乳腺外科

乳がん看護認定看護師 森

乳腺外科医師

工藤 牧野